

延べ約1,200名に対し新カリキュラムに関するガイダンスも1月末に4回にわたり実施された。さらに、同年2月には「教育改革の基本計画」をおもな内容とする大学教育ニュース『探究』第1号が14,000部発行され、この冊子を通じて教職員学生に対し教育改革の全容が説明された。

新カリキュラムの実施を目前に控えた1994年3月には、教養部関係の規程の廃止の手続きが進められる一方で、普遍教育等実施細則と開設科目の規程が制定された。また、新カリキュラム実施後の責任体制に関する検討のなかで、新たに千葉大学教育委員会を設置することとなり、同委員会規程の検討も行われた。

こうして、1994年4月、千葉大学教育委員会と各学部、外国語センター、総合情報処理センター等の協力のもと、新カリキュラムが実施に移されることになるのである。

## 第4節 看護学研究科（博士課程）の創設

1990年前半、千葉大学は教養部改組との関連で、さまざまな組織授業が試みられた。研究科構想も種々検討されたが、いずれも具体化することはなかった。そのなかで、看護学研究科（博士課程）創設は、関係者の地道な努力が身をむすび、ついに実現のはこびにいたった。同研究科構想についてはすでに1983年7月の「バラ色本」（第2章第4節を参照）で「看護学部を母体とする博士課程研究科については、その専門学部としての特殊性から独自の博士課程の設置の検討を進める」としている。以後数年にわたり、同研究科設置要求は、大学の概算要求の第1位にあげられてきた。

1990年、看護系大学協議会は、看護学の分野での高等教育充実のために看護系大学教員養成のための機関である大学院修士・博士課程の増設ないし新設を急務としてつよく要望した。このころから、少子高齢社会の到来にむけて、高等教育における看護職の養成が社会の緊急の課題であることが、ようやく広く認識されるにいたり、看護学分野の学士課程が、1990年代、急速に拡大された。他の分野で学科の新設・増設がきびしく制限されるなかで、看護学分野では1992年3校、1993年には7校の新設をみた。これにともない、これら大学教育を担当する人材養成のために、1993年、千葉大学において、国立大学でははじめて看護学研究科博士後期課程が設置されたのである。この研究科は、基礎看護学、母子看護学、成人・老人看護学、地域看護学の4大講座12研究教育分野からなり、入学定員9名である。これにより従来の修士課程は、

## 第5節 平成6年度概算要求に向けて

入学定員10名増の25名を擁する博士前期課程として再編成された。その教育目的は、看護職の行う実践の諸活動に科学的根拠を与える基礎的理論とその応用を体系的に教授・研究し、国民の健康生活を守ることでできる看護支援方法の研究・開発が自立して推進できるナース・サイエンティストを育て、わが国の精神文化にふさわしいヒューマンケアの基盤を確立させることにある。前期課程では、研究者としての基礎的能力を育て、後期課程では、看護学分野の調査研究が独立して実施できる知識の蓄積・拡大・厳選・伝達等に貢献できる能力を養う。

本研究科博士前期課程では、大学院設置基準第14条が適用され、社会人受け入れの体制が整備された。すなわち各授業科目は昼夜開講で実施されるのである。博士後期課程でも、この条項は適用されることになっている。

看護教育の充実を急務とする社会的要請はその後も急速に高まり、1994年度以降の4年間で看護学学士課程は31校に新設され、計52校に急増した。全国唯一の看護学研究科博士課程は、看護学教育のあり方を追求し、多様な教育背景を持つ看護職への生涯教育プログラムの開発等、看護職教育の高度化を牽引する役割が求められている。

## 第5節 平成6年度概算要求に向けて

### 第1項 教養部廃止後の普遍教育実施体制

1993年に入ると、平成6(1994)年度概算要求実現に向けての動きはいよいよ本格的なものとなった。1月、2月の部局長会議は続いて「大学改革について」を議題とし、組織の廃止転換・再編成等について審議している。1993年3月9日には、拡大第1小委員会(大学改革関係)が、5カ月ぶりに開かれ、「大学改革にかかる諸構想について」を審議した。学長から前回開催以降の大学改革にかかる検討状況について報告があり、学生部長からは全学教務委員会におけるカリキュラム改革の検討状況につき説明が行われた。さらに各学部長、自然科学研究科長から、それぞれの部局の改組構想について報告があり、これとの関連で教養部教員の移行数を示すよう学長から要請があった。さらに教養部教員の移行先案については、部局長会議に一任することが了承された。これを受けて、3月には、部局長会議が3回、4月にも3回にわたって開かれ、教養部教官移行希望案、各学部と大学院(修士課程)の改革構想案、自然科学研究科総合情報科学専攻の設置案、国際比較社会文化研究科設置案、教育学部スボ